

県政出張トーク実施結果報告書

| | | | | |
|---|-----------------------------------|---|---|----------------------------|
| 部局課室名 | 県土整備部建築住宅課 | テーマ | 木造住宅の耐震化の推進について | |
| | 平成28年2月5日(金) 19:00~20:10 | 実施場所 | 蕪崎市市役所別館3階会議室 | |
| 県(市)出席者 | 県土整備部 総括技術審査監 建築住宅課 建築物防災対策監 他 | 参加者 | 蕪崎消防団(15名) 減災ネットやまなし(4名) 建築士会蕪崎支部(2名) | 蕪崎市建設安全協会(2名) 蕪崎市役所(7名) |
| 主な発言内容 | | 県 回 答 | | 対 応 方 針 |
| <p>話題提供</p> <p>① 「建物耐震化の重要性」</p> <p>② 「耐震化の補助制度」</p> <p>③ 「住宅の耐震化が進まない原因」 について、映像をもとに説明を行う。</p> <p>○ 設計事務所を営んでいるが、依頼を受けて耐震診断をしてみると、数値を満たしているのは、全体の1割程度か。ほとんどは耐震性が低い、との印象がある。</p> <p>○ 耐震改修は、工事費が高い。耐震化率を高めるには、予算を集中する必要がある。工事費を全額補助できないか。</p> <p>○ 耐震化に対して、市民の意識が変わるような施策が必要ではないか。</p> <p>○ 現在、木造住宅の耐震化はどのくらい進んでいるのか。</p> | | <p>○ 昭和56年5月以前の木造住宅は、耐震診断した結果、耐震性が低い可能性が高い。</p> <p>○ 限られた予算で補助すること、個人財産への補助であること等から、一戸に集中して補助することはできない。</p> <p>○ 現在、建物の所有者に関心を持ってもらうことが重要と考え、県、市町村、建築関係団体、自治会と協力し、戸別訪問や出張講座等の啓発活動を行なっている。引き続き、啓発活動をとおして耐震化の意識の向上を図っていきたい。</p> <p>○ 木造住宅に特化したものはないが、住宅の耐震化率は、平成26年度末現在で、82.7%となっている。</p> | | |

| 主な発言内容 | 県 回 答 | 対 応 方 針 |
|---|---|---------|
| <p>○ とてもそんなに耐震化が進んでいるとは思えない。補助制度についても、今日の参加者のうちどのくらいが知っているのか聞いてみたい。</p> | <p>○ 挙手を求めたところ、参加者のうち、半数程度が補助制度を知っていた。</p> <p>○ 県は、市や建築士に協力をいただき、各戸を訪問するローラー作戦を実施している。また、自治会や地域の会合で耐震化の重要性や補助金制度について説明をする防災出張講座も開催しているので、市を通じて申し込んでもらいたい。 今後周知、啓発に努めていく。</p> <p>○ 県では、住宅の耐震化については、重要施策として位置づけている。 御意見については、しっかりと受け止めて、耐震化の促進を進めて行く。 今後ともご協力をお願いしたい。</p> | |